

求める業者からさまざまな方法で資金供与を受け、その見返りとして許認可や工事の発注をします。そして、この資金で選挙を勝ち抜くのです。反対に言えば、選挙で多額のお金を使う政治家はこの利権政治家であり、口では行政改革や市民のための政治と叫んでいても、実行するつもりは全くないのです。さらに言えば、このような今までの政治家は利権を漁ることが人生であり、政策の立案や実行する能力はないのです。

このような政治家を選んでいる限りは、東京は何も良くなりません。今の東京は世界有数の都市ではありますが、一般市民の生活は楽しくてバラ色のものにはなっていないはずです。ですから、利権とは縁のない政治家、選挙にお金をかけない政治家、本気で東京を良くしていこうと気合いの入った政治家が今必要とされているのです。

私は、大学を卒業して以来、ずっとサラリーマンを勤めてきました。もちろん、そのままサラリーマンで一生生活して行くことも可能でした。しかし、今、本気で東京を変えないと一般市民の将来は極めて暗いと考えるに至りました。私は、利権政治と官僚政治を排除し、東京を一般市民の手に取り戻すべく立ち上がりました。さまざまな困難な問題を解決するために身を砕いて頑張る決意でありますので、どうか皆様方のご理解とご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

【古木たけひこのプロフィール】

1964年6月19日葛飾区水元で生まれの32才。

1988年学習院大学物理学科卒業。

富士銀ソフト、クレディ・リヨネ証券会社に勤務し、国際金融システムに詳しい。

また、ボランティアで東京高齢者協同組合に参加するなど、高齢者問題にも積極的に取り組んでいる。

品川区 六角年成

【動機】今までは私自身も他人事のように感じていた政治。ただ外から眺めていただけの政治。不満や理想は今までも何度も口にしてきました。ただ、それだけでは何も変わらない。私自身家族も増え、子供に対しての責任、次の世代に対しての責任、そして未来に対しての責任を考えた時、感じました。”変わらなきゃ・・・”そう思い立った今、少しでも勇気を持って政治の世界に挑戦します。都民の感覚・意見を十分に反映させた身近な都政を実現するために頑張ります。

【公的・目標】大きく分けて次にあげる3つの目標を中心に進めます。

①わかりやすい都政の実現

- 1)情報公開の徹底。都民に対して、議案の途中経過を徹底させると共に、都民の要求に答えられる行政システムの構築。
- 2)政治に興味を持たせる、また持たれるための都政の実現。特に20代30代の若い年齢層に対して、アピールする都政を実行する。政治不信の払拭と、魅力ある政治を目指す。
- 3)広報活動の強化。政策はもちろん、都政そのものをできるだけ都民に知ってもらう努力をする。ある日突然”～が始まります” ”・・・でした”という事がないようにする。

②高齢化社会への対応を充実させる

- 1)21世紀、ますます高齢化を迎える社会に向けて労働環境・福祉環境の充実を図る。
- 2)与えるだけの福祉ではなく、心の福祉まで行き届く都政の実現。
- 3)”高齢者＝弱者”という図式を見直し、お年寄りもまだまだ元気だ、という実体もきちんと把握する。お年寄りの自立をさまたげる政策の見直し。

③環境問題 ～次の世代に何を残せるのか～

- 1)ゴミ全体について”誰かが処理してくれる”という他人まかせ意識をなくし、責任感を取り戻させる。
- 2)東京湾の見直し等、周辺の自治体との連携が必要な問題に積極的に着手する。環境にかかわる問題は、もはや一都一県では難しくなっている。

【これを読んで頂いてるあなたにお願い】

一介のサラリーマンが無謀な挑戦、と笑われるかも知れませんが、現行の政治・政策には閉塞感があります。それを打破し、次の世代へとつながる一步を踏み出します。ただ私にはカバンや地盤もないため一人でも多くの協力が必要です。どうか”私なんて・・・”と尻込みしないでください。一緒に手を取り、肩を組んで進んでいきたいと思います、あなたとともに・・・。

【六角年成のプロフィール】

- ・1963年8月28日生まれ、男3人兄弟の末っ子
- ・明治大学商学部卒業
- ・「さがけ塾」第一期生
- ・大前研一主宰「一新塾・都議養成科」塾生
- ・趣味：ギター・ピアノ・釣り
- ・スポーツ：バスケット・サッカー・スキー
- ・好きな言葉：「上を向いて歩こう」
- ・尊敬する人物：母

(注) 以上の方々は未だ、平成維新東京の推薦候補と決まってる訳ではありません。